

12月定例会 一般質問要旨

2次元コードを読み取ると、議員それぞれの全ての質問の様子をご覧ください。



本市のブランド化に向けた現状と課題、そして今後の展開について



志友会 長 正祐

議員 本市の情報発信体制が縦割りであるため、一元化して統合的な発信を行う仕組みをつくることについて伺います。

企画部部長 各事業担当課で情報発信を行っています。組織を横断する総合的な施策や特徴的な政策についてはさまざまな媒体を活用し、統一感ある市政情報発信を考えています。

議員 個々の魅力が点在し、統一したメッセージが十分に形成されていない課題があるため、「太田市ブランド戦略(仮称)」の策定の検討について、市長の所見を伺います。

市長 気付かない地域の魅力や資源などは多岐にわたり、単にブランド戦略の立ち上げだけでは、その理解や共有は難しいため、まずは資源の再発掘や情報発信により本市のブランドを考えていきたいと思っています。

議員 ブランド化を専門に担当する庁内横断型「ブランド推進室(仮称)」の設置について所見を伺います。

市長 ブランド推進室の設置予定はありませんが、マーケティングやブランド戦略の観点は重要ですので、本市としての対応を検討していきたいと考えています。



議員 公約で掲げられたマーケティング課を核に、縦割りを横断する体制を確保し、ブランド戦略認定制度、魅力発信を総合的に推進することについて伺います。

市長 今後マーケティング課の設置を検討していく中でしっかりとブランド推進戦略を進めていきたいと考えています。



本市の自動車産業が行うモータースポーツ活動を通じた地域の活力増進、PRと支援のあり方について



志友会 高野 博善

議員 本市に生産拠点があるSUBARUと日野自動車のモータースポーツ活動を応援することは、本市の未来を共に創る重要な地域戦略の一つと考えますが、国内最高峰の自動車レース「SUPER GT」でのPRブース出展の手応えについて伺います。

企画部部長 来場者から好意的な意見をもらい、本市の認知度アップに非常に手応えがあったと感じています。

議員 来年度も継続してもらいたいと考えますが、所見を伺います。

企画部部長 課題や成果を踏まえ、来年度も継続実施したいと考えています。



議員 モータースポーツでの活躍は本市のものづくりの素晴らしさを実証でき、その盛り上がりは本市の活力増進に大きく寄与するため、日野自動車のラリー車の活動を伝える展示の機会を増やしてほしいと考えますが、所見を伺います。

産業環境部長 今後も積極的に展示の機会を創出したいと考えています。

議員 企業のモータースポーツ活動を地域資源の一つと考え、市民と企業と行政が一体となって全国に本市の魅力を発信していくべきと考えますが、市長の所見を伺います。

市長 本市はスポーツを通じた官民連携のまちづくりに力を入れておりますが、「ものづくりのまち」でもあります。自動車産業が盛んですので、モータースポーツ活動にも力を入れ、取り組んでいきたいと考えています。

■その他の質問

▷単身生活者の増加に対応した公営納骨施設の今後について



市民・地域住民との対話を通じた行政運営について



志友会 青木 雅浩

議員 本市では、市民・地域住民との対話の機会の一つとして、例年3月に各地区で「予算のあらし地区懇談会」を開催していますが、概要について伺います。

地域振興部長 新年度予算の概要や主要事業などを市民へ説明して理解を得るとともに、市民参画と協働によるまちづくりを進めるため、市民と市長との自由対話の機会を設けています。



議員 対話の機会は、市民参画、協働のまちづくりを推進する観点から大切であるため、新年度の予算成立後の地区懇談会だけでなく、新たに対面

型の市民・地域住民との対話の機会、「(仮称)おた未来トーク」を地区別、地域別などで開催すべきと考えますが、市長の所見を伺います。

市長 「新年度予算のあらし地区懇談会」は、今年度から「おたタウンミーティング～新年度予算と太田の未来～」とタイトルを変更し、これまでと同様に各地区での開催を予定しています。まずはこの懇談会を実施し、改善しながら、ベストな形で市民との対話の場を設けることができるよう前向きに検討していきたいと考えています。

議員 市民との対話は「開かれた市政」にもつながるものと考えますが、市民・地域住民との対話を通じた行政運営について、所見を伺います。

市長 市政を進める上で市民との対話は非常に重要であり、多くの人と対話しながら行政運営を進めていきたいと考えています。

■その他の質問

▷こども・子育て支援の推進について



介護職への支援について



公明党 谷之木 勇作

議員 少子高齢化が進み、要介護者が増加する一方、介護職の現場を支える人材は不足しています。人材確保や支援への取り組みは急務であり、6月定例会でも質問した通り、国や県と協力して介護職に関わる資格や研修の補助などの支援を実施すべきと考えますが、所見を伺います。

健康医療部長 介護サービスの質の維持や介護人材の確保、定着は必要なものであり、そのための介護資格の取得や研修の費用助成などの支援も重要であると考えていますので、資格取得に関する研修費用の補助を検討しています。

議員 他市では介護職員への給与上乗せや家賃補助、手当の支給などの支援があり、本市でも多様な人材確保や育成、定着促進のため、介護職の魅力を向上させる政策や職員の処遇改善に取り組む必要があると考えますが、市長の所見を伺います。

市長 物価高騰の影響を受ける中、本市では質の高い介護サービスを提供できるように、適時、介護事業所に対して支援金の交付を行ってまいりましたが、介護を支える担い手の確保は大変重要であり、大きな社会課題であると認識しています。今後は、介護人材を量と質の両面から確保するため、処遇改善に向けた国の動向などを踏まえ、市としての適切な対応を検討していきたいと考えています。



■その他の質問

▷空き家対策の推進と空き家の有効活用について